



セカンドサーキュラー

一般社団法人

文化財保存修復学会 第46回大会 於東京

2024年6月22日(土) / 6月23日(日)
帝京大学 八王子キャンパス (八王子市大塚 359)

主催 文化財保存修復学会

共催 帝京大学

文化財保存修復学会第46回大会および2024年度総会のご案内

陽春の候、文化財保存修復学会会員の皆さまにおかれましては、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。さて、本学会は、わが国の文化財保存と修復にかかわる研究者、修復家、学芸員などさまざまな分野の会員が参加し、その数は1,100名を超えるまでに発展してまいりました。

2024年度の大会は、東京都八王子市にある帝京大学八王子キャンパスを会場として6月22日(土)、23日(日)に、総会は23日(日)に開催いたします。大会前日の6月21日(金)には公開シンポジウムの開催、大会初日に特別行事も企画しております。

帝京大学は1966年の創立以来、様々な文化財の調査や保護に取り組んで参りました。1986年に発掘調査や埋蔵文化財の調査・保存を行う山梨文化財研究所を設立し、1988年に帝京大学やまなし伝統工芸館を開館しています。近年では、2012年に新たに帝京大学文化財研究所を設置し、2015年には帝京大学総合博物館を八王子キャンパスに開館しました。大会期間中にぜひ足をお運びください。

また、創立50周年にあわせて2016年に帝京大学シルクロード学術調査団を発足させ、海外での調査・研究活動も拡大させています。本大会では、山内和也教授による特別講演にて帝京大学文化財研究所の活動についても紹介いたします。

会員の皆さまには、最新の情報発信の場、文化財の保存修復のこれからを考える活発な討議の場として実りある成果が得られますようふるってご参加いただきますとともに、文化財にご関心のある方々にお声かけくださいますようご案内申し上げます。

多くの方々に全国からご参集いただき、活発な交流ができますことを関係者一同、心よりお待ち申し上げます。

2024年3月25日

一般社団法人文化財保存修復学会

記

1. 大会（研究発表）

年月日：2024年6月22日（土）・23日（日）

会場：帝京大学 八王子キャンパス（八王子市大塚 359）

キュリオシティホール（ソラティオスクエア 1F）、学生ラウンジ（3号館）

2. 総会

年月日：2024年6月23日（日）10:40～11:40

会場：帝京大学 八王子キャンパス キュリオシティホール（ソラティオスクエア 1F）

総会出欠届：総会に出席できるのは名誉会員、正会員です。名誉会員、正会員の方は同封の出欠届を6月13日（木）までにご投函ください。欠席の場合は必ず委任状に署名・捺印のうえ、送付をお願いいたします。

※総会終了後、学会表彰授与式を行います。

3. 特別行事

シンポジウム 2024年6月21日（金）＊詳細についてはP14・大会HP・チラシをご参照ください。

「博物館DXがみんなを結ぶ」

会場：帝京大学 八王子キャンパス 小ホール（ソラティオスクエア B2F）

特別講演 2024年6月22日（土）17:30～18:10

「文化遺産保護における国際貢献－バーミヤーンからジョージア－」

山内和也（帝京大学文化財研究所所長）

会場：帝京大学 八王子キャンパス キュリオシティホール（ソラティオスクエア 1F）

特別ポスターセッション 2024年6月22日（土）・23日（日）

会場：帝京大学 八王子キャンパス 学生ラウンジ（3号館）

4. 機器等展示（出展ブース確定順に大会HPに記載）

年月日：2024年6月22日（土）・23日（日）

会場：帝京大学 八王子キャンパス 学生ラウンジ（3号館）

5. 懇親会（＊当日申込に限りがございますので、できるだけ事前にお申し付けください。）

年月日：2024年6月22日（土）18:20～20:00

会場：帝京大学 八王子キャンパス ソラティオキッチン（ソラティオスクエア 6F）

会費：事前振込 5,000円（一般）3,500円（学生）／当日支払い 7,000円（一般）4,000円（学生）

6. 参加登録費

参加費	事前振込	当日
会員（一般）	5,000円	8,000円
会員（学生）	2,000円	5,000円
非会員（一般）	10,000円	12,000円
非会員（学生）	3,000円	6,000円
賛助会員4人まで (1団体)5人目から	各5,000円 各6,000円	各8,000円 各12,000円

1) 事前登録の方は、同封のゆうちょ銀行払込取扱票（要手数料）にて5月31日（金）までにお払込み下さい。

[ゆうちょ銀行 振替口座 01770-1-169737 文化財保存修復学会大会実行委員会]

ゆうちょ銀行備え付けの払込取扱票（青色）をご利用のうえお振込いただく際には、お名前、ご住所、ご所属、ご連絡先メール、電話番号、ご希望の参加区分、懇親会参加の有無、合計金額をご記入いただきますようお願い申し上げます。

2) 懇親会に参加される方は、懇親会費も併せてお払込みください。

3) 払込まれた参加登録費、懇親会費は返金いたしませんのでご了承ください。

4) 事務手続の都合上、払込取扱票1枚につき、必ずお1人でお申し込みください（賛助会員様は一団体で1枚）。複数枚必要な方はお手数ですが、大会事務局（taikai46@jscpp.or.jp）宛てメールにてご請求ください。折り返しセカンドサーキュラーと共にお送りいたします。ゆうちょ銀行備え付けの払込取扱票（青色）もご利用いただけます。

5) 払込み期限（5月31日（金））を過ぎてからの払込みについては事前登録の扱いをいたしません。（当日受付時に差額をお支払いいただくこととなります。）くれぐれもご注意ください。

7. ご注意

- ・ポスター発表は6月22日（◆P001～P058）と6月23日（◇P059～P115）に分かれます。
- ・日にちをお間違えないように、また、掲示作業、撤去作業は必ず所定の時間内（6月22日（土）8:45～（1日目掲示）／14:00～16:40（撤去）／17:20～18:20（2日目掲示）、6月23日（日）8:45～（2日目掲示）／13:40～15:15（撤去））に終わるようにご協力をお願いします。
- ・ゴミは各自でお持ち帰りいただくようご協力をお願いします。

研究発表プログラム

(◎代表研究者)

第1日目 6月22日 (土)

- 8:45 ～ 開場 (受付開始)
ポスター (◆ P001 ～◆ P058) 掲示作業
9:30 ～ 9:40 開会挨拶 冲永佳史 (帝京大学理事長・学長)

セッションI

座長：李 ガン (東京学芸大学)、中村力也 (宮内庁正倉院事務所)

- 9:40 ～ 10:00 藍染織品から拡散したインジゴ分解生成物の蛍光特性
◎奥島希子 (東京藝術大学)、塚田全彦 (東京藝術大学)
- 10:00 ～ 10:20 トメントールによるカビの発育阻止効果に関する研究
—水損紙資料に対する緊急処置法の開発に向けて—
◎岸 創哉 (筑波大学大学院)、松井敏也 (筑波大学)、高鳥浩介 ((特非) カビ相談センター)
- 10:20 ～ 10:40 フッ素系溶媒を用いた新規洗浄法の構築
◎押鐘浩之 (大阪大学、神奈川工科大学)、坂本麻記子 (大阪大学)、
甲斐由理子 (神奈川工科大学)、松野美由樹 (奈良文化財研究所)、松田泰典 (東洋美術学校)、
寺村裕史 (国立民族学博物館)、末森 薫 (国立民族学博物館)
- 10:40 ～ 10:45 休憩

セッションII

座長：鷹野佳世子 (帝京大学)、渡辺祐基 (九州国立博物館)

- 10:45 ～ 11:05 永青文庫所蔵 桐九曜紋唐草蒔絵鞍・鐙の修復方針と確認された螺鈿表現と
木地構造について
◎大西智洋 (合同会社大西漆芸修復スタジオ)、才藤あずさ (熊本県立美術館)、
豊田勝彦 ((株) 豊田歴世画工舎)
- 11:05 ～ 11:25 建箔 (寄箔) —近世における金箔成形技法の試論—
◎阪野智啓 (愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)
- 11:25 ～ 11:45 縮緬絵の制作法に関する考察 —皺の入れ方の幾何学的取り扱い—
◎日比谷孟俊 (実践女子大学)、堀木 茂 (参宮ブランド擬革紙の会)、
大和あすか (東京文化財研究所)、一宮八重 (東京藝術大学)、
川上 宏 (縮緬絵収集家)、山本 親 (名古屋学院大学名誉教授)
- 11:45 ～ 12:05 武雄鍋島家資料「絵絹」調査報告 —製糸・製織技術の視点から—
◎京都絵美 (嵯峨美術大学)、早川典子 (東京文化財研究所)、山田祐子 (東京文化財研究所)、
安永拓世 (東京文化財研究所)、菊池理予 (東京文化財研究所)、
秋本賀子 (勝山織物絹織製作研究所)、志村 明 (勝山織物絹織製作研究所)
- 12:05 ～ 13:00 昼休憩
- 13:00 ～ 14:00 ポスター発表
- 14:00 ～ 14:10 休憩

セッションⅢ

座長：杉山恵助（東北芸術工科大学）、早川典子（東京文化財研究所）

- 14:10～14:30 中世屏風の屏風裏 一鳥襷文臙脂色裏紙の再現—
◎中神敬子（愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所）、
阪野智啓（愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所）、
岩永てるみ（愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所）、
安井彩子（愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所）、
齋藤晴香（愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所）、
菊池 円（名古屋城本丸御殿障壁画復元模写制作共同体）
- 14:30～14:50 名塩雁皮紙の性質についての研究 ーサンプルを用いた実験を通してー
◎平片仁也（東京藝術大学）、荒井 経（東京藝術大学）
- 14:50～15:10 和紙抄造に利用されるトロロアオイの研究 ー絵画に写された形態—
◎嶋田千香（福井工業高等専門学校）、桐原瑛奈（東京国立博物館）、
田中琴子（福井大学）、小越咲子（福井工業高等専門学校）、小越康宏（福井大学）
- 15:10～15:30 紙資料の加速劣化試験法の評価
ー異なる環境で保管された同一図書資料4冊の初期強度の推定—
◎李 ガン（東京学芸大学）、江前敏晴（筑波大学）、稲葉政満（東京文化財研究所）
- 15:30～15:35 休憩

セッションⅣ

座長：池田和彦（(株)修護）、貴田啓子（東京藝術大学）

- 15:35～15:55 和本の装丁に使用された材料とその問題点
ー幕末から明治初期における和本を事例に—
◎沓名貴彦（国立科学博物館）
- 15:55～16:15 抄紙用ネリに用いるノリウツギの安定供給に向けた取り組み
◎西田典由（東京文化財研究所）、倉島玲央（東京文化財研究所）、長田雅弘（標津町役場）、
小林和楽（標津町役場）、錦織正智（北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場）、
鈴木三男（東北大学）、栗野達也（京都大学）、早川典子（東京文化財研究所）
- 16:15～16:35 デンプン糊で裏打ちされる文化財の修理における
市販 α -アミラーゼ適用方法に関する検討
◎早川典子（東京文化財研究所）、山田祐子（東京文化財研究所）、
趙 依寧（東京文化財研究所）、山中勇人（大阪産業技術研究所）
- 16:35～16:40 休憩

セッションⅤ

座長：末森 薫（国立民族学博物館）、藤澤 明（帝京大学）

- 16:40～17:00 英国文化財機関におけるベストプラクティス（実務指針）の役割、
実行におけるコレクションケアの影響の重要性
◎内田夕貴（英国ノーフォーク公文書館）
- 17:00～17:20 アルメニアにおける文化遺産保護の人材育成事業
◎石井美恵（佐賀大学）、山内和也（帝京大学）、横山 翠（NHK文化センター）、
間舎裕生（東京文化財研究所）、有村 誠（東海大学）、土屋貴哉（佐賀大学）、
松島朝秀（高知大学）、近藤恵介（佐賀大学）
- 17:20～17:30 休憩
- 17:30～18:10 特別講演
「文化遺産保護における国際貢献ーバーミヤーンからジョージア—」
山内和也（帝京大学文化財研究所所長）
- 14:00～16:40 ポスター（◆ P001～◆ P058）撤去作業
- 17:20～18:20 ポスター（◇ P059～◇ P115）掲示作業
- 18:20～20:00 懇親会

第2日目 6月23日(日)

8:45～ 受付開始
ポスター(◇P059～◇P115) 掲示作業

セッションVI

- 座長:相澤邦彦(ヤマト運輸(株)美術品ロジスティクスチーム)、成田朱美(愛知県立芸術大学)
- 9:10～ 9:30 ウェットクリーニング時における油彩画塗膜の膨潤挙動の観測
—3D計測とレーザースペックルイメージング(LSI)による動的評価—
◎小野慎之介(東洋美術学校)
- 9:30～ 9:50 正倉院宝物の修理における合成樹脂の使用について
◎片岡真純(宮内庁正倉院事務所)
- 9:50～ 10:10 合成樹脂の塗布された板絵著色画の修理事例—東京都有形文化財(絵画)
板絵著色大森彦七郎一面および三人静白拍子郎一面の保存修理から—
◎君嶋隆幸((株)修護)、早川典子(東京文化財研究所)、池田和彦((株)修護)
- 10:10～ 10:30 油彩画修復におけるワニスを選択 —合成樹脂、天然樹脂、添加剤—
◎土師 広((株)土師絵画工房)
- 10:30～ 10:40 休憩
- 10:40～ 11:40 総会
- 11:40～ 12:40 昼休憩
- 12:40～ 13:40 ポスター発表
- 13:40～ 13:50 休憩

セッションVII

- 座長:加藤和歳(九州歴史資料館)、和高智美(合同会社文化創造巧芸)
- 13:50～ 14:10 被災小学校を改修した収蔵保管環境の長期計測
—東日本大震災で被災した石巻市湊二小における空気質調査—
◎松井敏也(筑波大学)、森谷 朱(東北歴史博物館)、河崎衣美(奈良県立橿原考古学研究所)、
長野克則(北海道大学)、佐藤麻南(石巻市)
- 14:10～ 14:30 空調機等のない施設における省エネ型保存環境構築のための基礎調査
—木材でどこまで湿度制御できるのか—
◎森谷 朱(東北歴史博物館)、芳賀文絵(東京文化財研究所)、嵯城花佳(東北歴史博物館)、
及川 規(宮城学院女子大学)
- 14:30～ 14:50 展示ケース内に生じる気流と湿度分布についての検証
◎和田 浩(東京国立博物館)、矢野賀一(東京国立博物館)
- 14:50～ 15:10 都内の寺社に見られる石蔵状建物とその保存科学的評価
◎朽津信明(東京文化財研究所)
- 15:10～ 15:15 休憩

セッションVIII

- 座長:大西智洋(合同会社大西漆芸修復スタジオ)、間渕 創(国立文化財機構文化財活用センター)
- 15:15～ 15:35 地域文化財の保存修復に関する一提案
—山形県玉龍院五百羅漢像の保存修復を通じて—
◎岡田 靖(東京藝術大学)、足立収一(個人修復家)、石井紀子(白鷹町歴史民俗資料館)、
小島久典(東京藝術大学)、山田亜紀(東京藝術大学)
- 15:35～ 15:55 燕市・国上寺本堂への現代アート作品設置における寺院の先進的な取り組みと
文化財保護との軋轢
◎宮本品朗(東北芸術工科大学)、込山真生(東北芸術工科大学大学院)
- 15:55～ 16:15 「当事者にとって大事なもの」の保存継承を支援する
「文化財保存行動学」構築の可能性—3つの仏像修理事例からの考察—
◎牧野隆夫(吉備文化財修復所)
- 16:15～ 16:25 閉会挨拶 本田光子(文化財保存修復学会理事長)
- 13:40～ 15:15 ポスター(◇P059～◇P115) 撤去作業

ポスターセッション

(◎代表研究者)

第1日目

6月22日 (土)

- ◆ P001 ヨルダン王国、ウム・カイス遺跡における遺構、遺物の保存修復
—国際協力プロジェクトの成果(総括)—
◎西浦忠輝(国士舘大学)、松本 健(国士舘大学)、小野 勇(国士舘大学)、
ジャファー テルファ(国士舘大学)、片多雅樹(長崎県埋蔵文化財センター)、
藤田浩明(大阪市文化財協会)
- ◆ P002 キルギス共和国アク・ベシム遺跡出土遺物の現地での保存修復
◎三浦麻衣子(帝京大学文化財研究所)、藤澤 明(帝京大学文化財研究所)、
竹井 良(帝京大学文化財研究所)、
アマンバエヴァ バキット(キルギス共和国国立科学アカデミー歴史文化遺産研究所)
- ◆ P003 バーミヤーン遺跡の西大仏龕壁画の描き起こしについて
◎正垣雅子(京都市立芸術大学)、宮治 昭(龍谷大学)
- ◆ P004 横山操《雪原》(1963年)の技法
◎大川美香((株)絵画保存研究所)、小谷野匡子((株)絵画保存研究所)、
福田 誠((株)絵画保存研究所)、土屋 信(佐久市立近代美術館)
- ◆ P005 岸竹堂筆〈大津唐崎図〉の制作当初の姿と技法に関する考察—保存修理事業を通して—
◎小田桃子((一社)千總文化研究所)、岡 岩太郎((株)岡墨光堂)、堀江亮子((株)岡墨光堂)、
近藤修二((株)岡墨光堂)、山府木碧((株)岡墨光堂)
- ◆ P006 木村貞綱筆「阿弥陀聖衆来迎図屏風」の自然科学調査による絵画材料と技法の考察
◎荒木恵信(金沢美術工芸大学)
- ◆ P007 18世紀～19世紀のモンゴルの文書料紙分析—毛頭紙を中心に—
◎ドルジプレフ オトゴン(京都芸術大学)、大林賢太郎(京都芸術大学)
- ◆ P008 縮緬画帖と縮緬本における制作技法の比較
◎大和あすか(東京文化財研究所)、一宮八重(東京芸術大学)、桐原瑛奈(東京国立博物館)、
川上 宏(縮緬絵研究家)
- ◆ P009 CT画像解析からみる興福寺乾漆像の木彫技法を用いた鎌倉期修理について
◎加藤沙弥(奈良国立博物館)、今津節生(奈良大学)、山崎隆之(仏像修復研究家)
- ◆ P010 X線CTによる江戸時代蒔絵文台の素地構造分析
◎高橋 奈(鶴見大学大学院)、松本卓己(鶴見大学大学院)、矢島律子(鶴見大学)
- ◆ P011 ストラッポに用いられる接着剤に関する研究
◎佐々木晴香(東京芸術大学大学院)、北野珠子(東京芸術大学大学院)、
日高 翠(東京芸術大学大学院)
- ◆ P012 大津祭曳山「西行桜狸山」の桜の精(仙人)の構造調査
◎橋本沙知(国立民族学博物館)、日高真吾(国立民族学博物館)、園田直子(国立民族学博物館)、
河村友佳子(国立民族学博物館)、和高智美(合同会社文化創造巧芸)、
石井里佳(合同会社文化創造巧芸)、和田光生(大津市市民部文化財保護課)
- ◆ P013 女乗物の細部のつくりと製作方法・工程に関する考察
◎落合里麻(東北生活文化大学)
- ◆ P014 透過X線写真撮影による鎌倉時代の神将像の構造分析に関する研究
—山形県本山慈恩寺十二神将像のうち寅神将像を中心に—
◎金 路(東京芸術大学)、岡田 靖(東京芸術大学)、山田 修(東京芸術大学)
- ◆ P015 萬福寺十八羅漢像における「撥金(錐金)」技法に関する調査研究
◎胥 文君(東京芸術大学)、島津美子(国立歴史民俗博物館)、岡田 靖(東京芸術大学)
- ◆ P016 東京芸術大学 大学美術館所蔵 肥後別当定慶作 木造毘沙門天立像の白色下地について
◎王 工一(東京芸術大学)、岡田 靖(東京芸術大学)、島津美子(国立歴史民俗博物館)

- ◆ P017 ポルトガルで伝えられた松樹 IHS 箔絵螺鈿書見台の CT 調査
◎鳥越俊行（奈良国立博物館）、小林公治（東京文化財研究所）、ウルリケ ケルバー（リスボン新大学美術史研究所）、加藤沙弥（奈良国立博物館）
- ◆ P018 イスラーム化以前のタシュケント地方とホラズム地方で発行されたコインの材料とその流通
◎竹井 良（帝京大学文化財研究所）、藤澤 明（帝京大学文化財研究所）
- ◆ P019 キルギス共和国アク・ベシム遺跡より出土した金属生産関連資料の科学的調査
◎藤澤 明（帝京大学文化財研究所）、三浦麻衣子（帝京大学文化財研究所）、アマンバエヴァ バキット（キルギス共和国国立科学アカデミー歴史文化遺産研究所）
- ◆ P020 「仁清」印のある御室仁清窯跡出土陶片に関する調査
◎降幡順子（京都国立博物館）、降矢哲男（京都国立博物館）、尾野善裕（京都国立博物館）
- ◆ P021 熱分解 GC/MS による鳥浜貝塚出土木胎漆器の分析
◎池永 誠（京都市産業技術研究所）、橘 洋一（京都市産業技術研究所）、岡田文男（京都芸術大学）
- ◆ P022 国立工芸館の所蔵する杉浦非水のグラフィックデザインを対象とした科学的調査
◎村串まどか（明治大学）、阿部善也（東京電機大学）、高嶋美穂（国立西洋美術館）、中尾優衣（国立工芸館）、鳥海秀実（国立アトリサーチセンター）
- ◆ P023 正倉院宝物に用いられた古代の紙用接着剤の赤外分光分析
◎中村力也（宮内庁正倉院事務所）
- ◆ P024 ハイパースペクトルイメージングカメラを用いた古代ガラス製品の簡易的な起源推定の提案と応用
◎阿部善也（東京電機大学）、杉浦雅乃（東京電機大学）、村串まどか（明治大学）、鎌田 涼（筑波大学）、稲田健一（ひたちなか市埋蔵文化財調査センター）
- ◆ P025 ハイパースペクトルカメラを用いた変退色サンプル布の反射分光分析
◎片淵奈美香（東京文化財研究所）、紀 芝蓮（東京文化財研究所）、寺島 海（東京文化財研究所）、犬塚将英（東京文化財研究所）
- ◆ P026 油彩画を中心とした明治前期芸術様式に関する研究
—保存修復分野の光学調査を基に—
◎民部有桂（東京芸術大学）
- ◆ P027 Py-GC/MS による文化財塗膜分析の前処理法の開発
◎橘 洋一（京都市産業技術研究所）、池永 誠（京都市産業技術研究所）
- ◆ P028 東京国立博物館所蔵「華角貼箱」の材質調査
◎野中昭美（東京国立博物館）、塚田全彦（東京芸術大学大学院）、Boris Pretzel（東京芸術大学大学院）、小椋聡子（東京芸術大学大学院）
- ◆ P029 エライザ法（酵素結合免疫吸着法）による美術作品中の膠着材の同定
—経年や顔料が与える影響について—
◎高嶋美穂（国立西洋美術館）
- ◆ P030 銀色色材の劣化が基底材へもたらす影響 —豊原国周作の浮世絵の調査をもとに—
◎曾我萌萌音（京都芸術大学）、増淵麻里耶（京都芸術大学）、大林賢太郎（京都芸術大学）
- ◆ P031 二条城本丸御殿における障壁画の劣化要因に関する研究
—四季之間の材料・技法の分析から—
◎高林弘実（京都市立芸術大学）、貴田啓子（東京芸術大学）、岡村知明（京都市文化市民局 元離宮二条城事務所）、小椋大輔（京都大学）、高取伸光（京都大学）
- ◆ P032 佐賀大学美術館蔵 岡田三郎助《若き娘の顔》の非破壊調査と今後の保存・活用についての検討
◎見藤素子（佐賀大学美術館）、松島朝秀（高知大学）、石井美恵（佐賀大学）
- ◆ P033 スマルトや花紺青と呼称されるコバルト着色顔料の組成および江戸中期から明治初期の資料にみられる使用事例に関する考察
◎寺島 海（東京芸術大学）、貴田啓子（東京芸術大学）

- ◆ P034 西洋で用いられた茶色のインクの非破壊的な分析方法の検討
◎塚田全彦（東京藝術大学大学院）、Julia WEBER（東京藝術大学大学院）
- ◆ P035 中央アジア仏教塑像の造形・彩色材料の推定：
平山郁夫シルクロード美術館所蔵品に対する蛍光X線分析の結果から
◎山根萌々花（筑波大学）、谷口陽子（筑波大学）、大塚裕一（平山郁夫シルクロード美術館）
- ◆ P036 白色油絵具の暗所保管による一時的黄変と光による脱色が起こる際の蛍光挙動
◎康 寶允（東京藝術大学）、塚田全彦（東京藝術大学）
- ◆ P037 壁画におけるアズライトの緑色化に関する研究
—劣化生成物の粒径と生成量に着目した緑色化の傾向—
◎大迫美月（奈良文化財研究所）、塚田全彦（東京藝術大学大学院）
- ◆ P038 商品として流通した花緑青・エメラルドグリーンに関する科学的調査
◎荒井 経（東京藝術大学）、貴田啓子（東京藝術大学）、蔵品真理（東京藝術大学）、
寺島 海（東京藝術大学）、久安敬三（彩色設計）
- ◆ P039 文化財建造物装飾や板絵における塗装彩色材料調査の現状と課題
◎北野信彦（龍谷大学）、生駒 萌（龍谷大学）、西田早弥華（龍谷大学）、森岡志保（龍谷大学）、
山田卓司（龍谷大学）、倉島玲央（東京文化財研究所）
- ◆ P040 大樹寺所蔵 重要文化財絹本墨画淡彩如意輪観音図に用いられた色材の調査報告
◎金 旻貞（(株)修美）、市宮景子（(株)修美）、大野恭子（(株)修美）、宇都宮正紀（(株)修美）
- ◆ P041 金沢市立玉川図書館所蔵『二之御丸御殿御造営内装等覚及び見本・絵形』
第三冊の絵形に使用された彩色材料の分析調査
◎紀 芝蓮（東京文化財研究所）、寺島 海（東京文化財研究所）、
梶 青華（石川県文化財保存修復協会）、滝川重徳（石川県金沢城調査研究所）、
犬塚将英（東京文化財研究所）
- ◆ P042 油彩画の白色顔料上に見られる暗色斑点の発生要因の考察
—東京藝術大学大学美術館所蔵 松平四郎《南佛風景》の光学調査および科学分析をもとに—
◎吉岡穂乃花（東京藝術大学大学院）、上野勝久（東京藝術大学大学院）、
佐藤嘉則（東京藝術大学大学院）
- ◆ P043 恵林寺所蔵不動明王像および矜羯羅童子像・制多迦童子像の色材調査
◎高橋香里（東京藝術大学）、島津美子（国立歴史民俗博物館）、岡田 靖（東京藝術大学）、
塚田全彦（東京藝術大学）、朱 若麟（東京藝術大学）
- ◆ P044 奈良時代乾漆像の科学調査研究—聖林寺・観音寺十一面観音菩薩像の造像材料について
◎朱 若麟（東京藝術大学）、岡田 靖（東京藝術大学）、曹 智健（広州美術学院）、
門叶冬樹（山形大学）、大山幹成（東北大学）
- ◆ P045 植物繊維の同定—苧麻・大麻の識別—
◎菊池理予（東京文化財研究所）、早川典子（東京文化財研究所）、西田典由（東京文化財研究所）、
趙 依寧（東京文化財研究所）、安永拓世（東京文化財研究所）
- ◆ P046 株式会社千總所蔵友禅裂資料群の非破壊色材調査
◎増渕麻里耶（京都芸術大学）、小田桃子（(一社)千總文化研究所）
- ◆ P047 色材分析から見る型友禅絵刷製作目的の多様性について
◎根岸カノン（京都芸術大学）、増渕麻里耶（京都芸術大学）
- ◆ P048 重要文化財 白長覆輪太刀の科学分析
◎大江克己（国立アイヌ民族博物館）、是澤櫻子（国立アイヌ民族博物館）、
藪中剛司（国立アイヌ民族博物館）
- ◆ P049 修復に用いる水性溶液のpHの違いが油彩絵具に及ぼす影響
◎徐 顧嘉（東京藝術大学大学院）、上野勝久（東京藝術大学大学院）、日高 翠（東京藝術大学大学院）
- ◆ P050 目止めにポリビニルアルコールを使用した油彩画キャンバスの性能評価
◎伊東日和（東京藝術大学）、作間美智子（東京藝術大学大学院）、早川典子（東京藝術大学大学院）、
岩崎友敬（(株)クサカベ）

- ◆ P051 松煙煤及び膠を用いた近似墨液インクによる書画出力技術の開発
◎宇高健太郎（東京文化財研究所）、平 諭一郎（東京藝術大学）、寺師太郎（TOPPAN（株））、佐藤信博（（株）トッパングラフィックコミュニケーションズ）、碓 彩音（TOPPAN（株））、間瀬康夫（ジット（株））
- ◆ P052 透過 X 線および XRF によるシアノタイプの情報の復元
◎千徳佐和子（東京藝術大学大学院）、貴田啓子（東京藝術大学大学院）
- ◆ P053 AI による皮革の動物種判別 ―皮革文化財への適用―
◎飯岡稚佳子（東京藝術大学）、岡嶋克典（横浜国立大学）、田口智子（東京藝術大学）、倪 雪（東京藝術大学）、永田雅人（横浜国立大学）
- ◆ P054 3D デジタル技術を用いた彫刻文化財の造形復元に関する研究
◎宮木菜月（奈良県立大学）、山田 修（奈良県立大学）
- ◆ P055 東京藝術大学大学美術館所蔵「彫刻 -295」の彩色復元について
◎曹 智健（広州美術学院）、飯沼春子（春子美芸（株））、朱 若麟（東京藝術大学）、塚田全彦（東京藝術大学）、岡田 靖（東京藝術大学）
- ◆ P056 名古屋市美術館所蔵「東山動物園猛獣画廊壁画」の第 2 期修復報告と公開修復における取り組み
◎成田朱美（愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所）、井口智子（名古屋市美術館）、木島隆康（東京藝術大学）、白河宗利（愛知県立芸術大学）
- ◆ P057 埼玉県川越市域に遺る庚申塔の悉皆調査およびデータベース・マッピングの制作・公開
◎松田泰典（東洋美術学校）、大江桃花（東洋美術学校）、宮本晶朗（東洋美術学校／東北芸術工科大学）
- ◆ P058 日本植民地時代の台湾伝統建築における木質構造部材の樹材種に関する研究
◎李 長蔚（国立台湾芸術大学）、蘇 沛琪（国立台湾芸術大学）、傅 怡庭（国立台湾芸術大学）

第2日目 6月23日（日）

- ◇ P059 修業僧坐像（小形石彫物）の落下による破損の接合修復報告
◎岩月真由子（碧南市藤井達吉現代美術館／岩月保存修復研究所）、小島暁夫（（株）小島美術）
- ◇ P060 密陀軸の研究 ―20 年の経過報告―
◎坂田さとし（（株）坂田墨珠堂）、鶴 真美（宮内庁正倉院事務所）、中村力也（宮内庁正倉院事務所）、成瀬正和（東北芸術工科大学）
- ◇ P061 旧機那サフラン酒本舗鏝絵の保存修復
◎前川佳文（東京文化財研究所）、中山俊介（東京文化財研究所）、中村 舞（東京文化財研究所）、白石明香（東京文化財研究所）、津村泰範（長岡造形大学）
- ◇ P062 迎賓館赤坂離宮 22 号室天井画修復における新規下地材の構造と保存について
◎鈴嶋富士子（内閣府迎賓館）、代田朋美（内閣府迎賓館）、田中真由（国土交通省）
- ◇ P063 加速劣化処理による微細セルロースファイバー塗工紙の物理的性質の変化
◎小瀬亮太（東京農工大学）、池田昌矢（東京農工大学）、曾我百夏（東京農工大学）、岡山隆之（東京農工大学）、園田直子（国立民族学博物館）、関 正純（元高知県立紙産業技術センター）、横島文夫（キハラ・プリザベーション（株））
- ◇ P064 高度外部フィブリル化楮繊維のリーフキャストによる評価
◎貴田啓子（東京藝術大学）、西田典由（東京文化財研究所）、藤本真人（愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター）、岩田直美（東京藝術大学）、半田昌規（（株）半田九清堂）、稲葉政満（東京文化財研究所）
- ◇ P065 打紙に対する修復処置の検討 ―加湿および乾燥処理による挙動変化に焦点を合わせて―
◎李 姫静（京都芸術大学）、大林賢太郎（京都芸術大学）
- ◇ P066 墨糊が装演文化財の色に及ぼす影響
◎清水綾子（東京文化財研究所）、君嶋隆幸（（株）修護）、加藤雅人（東京文化財研究所）
- ◇ P067 異なる紙に付着したセロハンテープ粘着剤の劣化挙動
◎塩谷奏絵（東京藝術大学）、貴田啓子（東京藝術大学）

- ◇ P068 近代の文化財修理に使用された材料・技術に関する復元的実験
—接着材料としての硫黄コンクリートの使用—
◎大西功紗（龍谷大学）、倉島玲央（東京文化財研究所）、北野信彦（龍谷大学）
- ◇ P069 割れたガラス乾板に対する修理事例
—重要文化財 鎌倉芳太郎関係資料のうちガラス乾板の保存修理事業から—
◎池田和彦（(株) 修護）、井上さやか（(株) 修護）、森 達也（沖縄県立芸術大学）
- ◇ P070 仙台市博物館所蔵「紫羅背板五色水玉模様陣羽織」の修復について
◎田中淑江（共立女子大学）、長崎 巖（共立女子大学）、小田嶋なつみ（仙台市博物館）、高橋由子（共立女子大学）、原田ロクゴー（NN 染色研究所）、千田華子（NN 染色研究所）
- ◇ P071 鉄媒染絹布に対するフノリと膠を使用した処置方法の検討
◎ Ajla Redzic（東京藝術大学大学院）、佐藤 萌（東京国立博物館）、一宮八重（東京藝術大学大学院）、渡邊尚恵（東京藝術大学大学院）、早川典子（東京藝術大学大学院）
- ◇ P072 劣化絹をレーザー彫刻機で成形し絹本文化財の欠失箇所に充填する方法の一事例
◎沖本明子（(株) 光影堂）、安居千晶（(株) 光影堂）
- ◇ P073 高梁市成羽美術館所蔵古代エジプト木製品（児島虎次郎コレクション）の科学的分析に基づいた保存修復実践に関する研究
◎ Mohamed Moustafa（東京藝術大学大学院）、岡田 靖（東京藝術大学大学院）、高橋香里（東京藝術大学大学院）
- ◇ P074 岩手県二戸市大宮神社蔵 木造金剛力士像修理報告
—計画的かつ持続的な文化財保護行政の一例として—
◎渡邊真吾（東北古典彫刻修復研究所）、牧野隆夫（東北古典彫刻修復研究所）、石井智也（東北古典彫刻修復研究所）、柴田知二（二戸市教育委員会）、野辺地哲史（二戸市教育委員会）、高橋一行（大宮神社）
- ◇ P075 ポーランド共和国ポズナン国立博物館での平安仏修理
—海外に収蔵された仏像の現地修理作業について—
◎西巻彩子（吉備文化財修復所）、牧野隆夫（吉備文化財修復所）、佐藤健彦（吉備文化財修復所）、大西智洋（合同会社大西漆芸修復スタジオ）、後藤里架（合同会社大西漆芸修復スタジオ）
- ◇ P076 ポーランド共和国ポズナン国立博物館での平安仏修理
—仏像彫刻と修復作業者の環境：海外における一例—
◎佐藤健彦（吉備文化財修復所）、牧野隆夫（吉備文化財修復所）、西巻彩子（吉備文化財修復所）、大西智洋（合同会社大西漆芸修復スタジオ）、後藤里架（合同会社大西漆芸修復スタジオ）
- ◇ P077 ポーランド共和国ポズナン国立博物館での平安仏修理
—調査依頼から修復へ：国際共同事業としての道のり—
◎後藤里架（合同会社大西漆芸修復スタジオ）、大西智洋（合同会社大西漆芸修復スタジオ）、牧野隆夫（吉備文化財修復所）、佐藤健彦（吉備文化財修復所）、西巻彩子（吉備文化財修復所）
- ◇ P078 木造仏の保存修理報告
—関東大震災で大きく被災した横浜市・向導寺阿弥陀如来像の事例—
◎明珍素也（(株) 明古堂）、奥田重俊（(株) 明古堂）、河原佳幸（(株) 明古堂）、山本 勉（鎌倉国宝館／半蔵門ミュージアム）、吉井大門（横浜市歴史博物館）、花澤明優美（横浜市歴史博物館）
- ◇ P079 各分野の研究者と制作者の連携による仏像における古典彩色技法の解明
—個人蔵「春日本地仏」修復および復元制作を通して—
◎飯沼春子（春子美芸（株））、山田 修（奈良県立大学）、宇高健太郎（東京文化財研究所）、岡田 靖（東京藝術大学）、李 品誼（東京藝術大学）、朱 若麟（東京藝術大学）、曹 智健（広州美術学院）
- ◇ P080 タイ国日本人納骨堂 木造釈迦如来坐像の修復について—在外文化財修復の事例として—
◎小島久典（瀬戸内文化財修復所）、岡田 靖（東京藝術大学大学院）、大山幹成（東北大学植物園）、門叶冬樹（山形大学高感度加速器質量分析センター）、朱 若麟（東京藝術大学大学院）
- ◇ P081 彩色木製文化財の保存研究 ～トレハロースを用いた彩色部分の保護に関する検証～
◎藤田浩明（(一財) 大阪市文化財協会）

- ◇ P082 銅板油彩画における光学的調査の検討
—ハイパースペクトルイメージング調査の有効性と活用方法の考察—
◎上野淑美（横浜美術大学修復保存研究室／（株）シー・アール・エス）、鳥越義弘（横浜美術大学）、渡邊千尋（横浜美術大学）、青山浩之（環境リサーチ（株））、山口大裕（環境リサーチ（株））、安田静香（環境リサーチ（株））、古澤るい子（環境リサーチ（株））
- ◇ P083 文化財としての航空機の保存—文化財保護法における近代動産文化財の捉え方の整理—
◎千葉 毅（東京文化財研究所）
- ◇ P084 油彩画保存修復に使用される粉末消しゴムクリーニングの科学的評価
◎濱田清美（東洋美術学校）、小野慎之介（東洋美術学校）、松田泰典（東洋美術学校）
- ◇ P085 有機溶媒高含有ゲルによる文化財の旧修理材料除去の試み
◎秋山花子（東京藝術大学大学院）、一宮八重（東京藝術大学大学院）、早川典子（東京藝術大学大学院）
- ◇ P086 デンプン糊で裏打ちされた資料に対する α -アミラーゼとタンパク質性阻害剤の適用
◎押鐘浩之（大阪大学／神奈川工科大学）、坂本麻記子（大阪大学）
- ◇ P087 ガラス薄膜形成技術によるカビ対策
◎星野玲子（鶴見大学）、岩宮陽子（（株）超越化研）、廣井善二（東京大学物性研究所）、里村一人（鶴見大学）
- ◇ P088 水害モデルにより劣化させた綿布の力学特性と外観の変化
◎中村弥生（文化学園大学）
- ◇ P089 被災紙資料からの揮発成分調査について—処置状態・方法による比較結果—
◎芳賀文絵（東京文化財研究所）、松井敏也（筑波大学）
- ◇ P090 自然災害により被災した絵画の修復処置について
—浸水によるアクリル絵画の状態と対応処置—
◎尾形 純（トウキョウコンサベーション・（株）ディヴォート 修復室）、佐藤美子（川崎市市民ミュージアム）
- ◇ P091 再利用可能な絵画輸送箱の有効性と諸課題
◎相澤邦彦（ヤマト運輸（株）美術品ロジスティクスチーム）、高嶋美穂（国立西洋美術館）
- ◇ P092 油彩画で確認されたカビの種類と顔料との関係
◎葉名彩香（愛知県美術館）、轟 丈瑠（東京文化財研究所）、佐藤嘉則（東京文化財研究所）
- ◇ P093 愛知県蒲郡市無量寺の宝物殿における環境整備の取り組み
◎河村友佳子（国立民族学博物館）、園田直子（国立民族学博物館）、日高真吾（国立民族学博物館）、橋本沙知（国立民族学博物館）、和高智美（合同会社文化創造巧芸）、岡 岩太郎（（株）岡墨光堂）、間瀬 創（国立文化財機構 文化財活用センター）
- ◇ P094 バイオ炭を混和した環境配慮型コンクリートによるアンモニア放散抑制効果の検討
◎矢野慧一（清水建設（株）技術研究所）、山本伸也（清水建設（株）技術研究所）、富田賢吾（清水建設（株）技術研究所）、大田悠紀子（清水建設（株）技術研究所）、清水和昭（清水建設（株）技術研究所）、田中 勲（清水建設（株）技術研究所）
- ◇ P095 大安寺宝物殿の改修にともなう室内環境調査
◎杉山智昭（奈良大学）、山崎正彦（光明理化学工業（株））、篠原志織（奈良大学）
- ◇ P096 空調設備のない保存環境におけるハイガスバリア袋を用いた高湿度対策の効果
◎小野寺裕子（東京文化財研究所）、京極勇剛（宝金剛寺）、須賀隆章（佐倉市教育委員会）、佐藤嘉則（東京文化財研究所）
- ◇ P097 企画展示期間中の壁面ケースの有機酸濃度推移と対策
◎田井東浩平（高知県立高知城歴史博物館）、山崎正彦（光明理化学工業（株））
- ◇ P098 冬季における空調の設定温度が保存環境に及ぼす影響について
◎秋山純子（東京文化財研究所）、水谷悦子（東京文化財研究所）、伊庭千恵美（京都大学）、田中琴巳（京都大学）、由井和子（東京文化財研究所）
- ◇ P099 フィルム・テープの酸性度調査における色判定の検証
◎末森 薫（国立民族学博物館）、園田直子（国立民族学博物館）、日高真吾（国立民族学博物館）、橋本沙知（国立民族学博物館）、小阪真由（国立民族学博物館）、河村友佳子（国立民族学博物館）

- ◇ P100 サンプルングバッグを利用した床面からの放散化学物質の測定方法
◎古田嶋智子（国立アイヌ民族博物館）、鈴木昌樹（北海道立総合研究機構 林産試験場）、犬塚将英（東京文化財研究所）
- ◇ P101 美術品汚損原因真菌に対する殺菌処理方法の比較
◎小田尚幸（(株) エフシージー総合研究所）、宮地安住（(株) エフシージー総合研究所）、上野淑美（(株) シー・アール・エス）、川上裕司（東京家政大学）
- ◇ P102 循環ファン付き吸着剤（ケミカルフィルター）による展示ケースの空気質改善の試み
◎和泉田絢子（九州国立博物館）、渡辺祐基（九州国立博物館）、山本花乃（九州国立博物館）、穴井恵理（九州国立博物館）、木川りか（九州国立博物館）
- ◇ P103 大学教育における日本画ワークショップに関する報告
◎鴈野佳世子（帝京大学）、京都絵美（嵯峨美術大学）、久下有貴（画家）
- ◇ P104 博物館における教育普及活動の日中比較
—文化財保存修復に関するプログラムを対象に—
◎倪 雪（東京藝術大学）、飯岡稚佳子（東京藝術大学）、田口智子（東京藝術大学）
- ◇ P105 映像を用いた作品における修復と展示の相互作用
—国立国際美術館所蔵 ナムジュン・パイク《鳥籠の中のケージ》修復報告—
◎小川絢子（国立国際美術館）、有元利彦（HIGURE 17-15 cas）、渡里有紀子（HIGURE 17-15 cas）
- ◇ P106 縄文時代中期の溶結凝灰岩製の石棒の保存に向けての取り組み：
複製をもちいた屋外展示のための処置とモニタリング
◎谷口陽子（筑波大学）、伊庭千恵美（京都大学）、渡辺晋生（三重大学）、及川 崇（おいかわ美術修復）、佐野勝彦（(株) ディアンドデイ）、堤 隆（明治大学）
- ◇ P107 海底から発掘された木製品、石製品等遺物（海揚り品）から発生する還元型硫黄ガス（硫化水素、硫化カルボニル）の調査
◎木川りか（九州国立博物館）、和泉田絢子（九州国立博物館）、島田 潤（東京文化財研究所）、渡辺祐基（九州国立博物館）、安木由美（松浦市教育委員会）、内野 義（松浦市教育委員会）、佐藤嘉則（東京文化財研究所）、柳田明進（奈良文化財研究所）、脇谷草一郎（奈良文化財研究所）
- ◇ P108 明治期の手彩色写真に用いられた絵具
◎島津美子（国立歴史民俗博物館）
- ◇ P109 セメントの少量混合成分がコンクリートのアンモニア放散に及ぼす影響
◎山本拓弥（戸田建設（株））、大塚洋之（戸田建設（株））、栗木 茂（戸田建設（株））
- ◇ P110 藍染織品の収蔵時における保存紙の黄変の事例研究
◎奥島希子（東京藝術大学）、塚田全彦（東京藝術大学）
- ◇ P111 東京国立博物館所蔵キリシタン関係遺品ロザリオ・付札一群の収蔵方法改善
◎桐原瑛奈（東京国立博物館）、野中昭美（東京国立博物館）、佐藤 萌（東京国立博物館）、中村隆博（保存修復家）、米倉乙世（女子美術大学）
- ◇ P112 ニュウハクシミの生存率に与える温湿度環境の影響に関する研究
◎島田 潤（東京文化財研究所）、小野寺裕子（東京文化財研究所）、渡辺祐基（九州国立博物館）、小峰幸夫（奈良国立博物館）、木川りか（九州国立博物館）、佐藤嘉則（東京文化財研究所）
- ◇ P113 ニュウハクシミに対する簡便な物理的防除方法
◎高橋佳久（北海道博物館）、島田 潤（東京文化財研究所）
- ◇ P114 立体文化財のためのブラウザベースによる3Dビューアの開発
◎山田 修（奈良県立大学）、竹下繭子（京都国立博物館）、佐藤有希子（奈良女子大学）、庄 直樹（(株) ソニックビジョンクリエイト）
- ◇ P115 大型紙資料における磁石を用いた掛軸状展示具の工夫
東京国立博物館蔵 宅間為成／平等院壁画（模本）の展示具作製の事例から
◎大山龍頭（装潢作品保存修復家）、土屋貴裕（東京国立博物館）、古川攝一（東京国立博物館）、黒江将太（装潢修理技術者）、山田祐子（装潢修理技術者）、米倉乙世（女子美術大学）

特別ポスターセッション

- 特 1 帝京大学文学部史学科 美術史・文化遺産コースの取り組み
岡部昌幸（帝京大学）、鴈野佳世子（帝京大学）、山内和也（帝京大学文化財研究所）、
藤澤 明（帝京大学文化財研究所）、山田大樹（帝京大学文化財研究所）、
金井拓人（帝京大学文化財研究所）
- 特 2 帝京大学総合博物館の活動紹介
堀越峰之（帝京大学総合博物館）、甲田篤郎（帝京大学総合博物館）
- 特 3 帝京大学文化財研究所の活動紹介
藤澤 明（帝京大学文化財研究所）、山内和也（帝京大学文化財研究所）
- 特 4 令和 6 年能登半島地震における文化遺産の救援（速報）
独立行政法人国立文化財機構文化財防災センター、文化庁、石川県教育委員会、
富山県教育委員会、能登文化財保護連絡協議会、
文化財保存修復学会災害対策調査部会
- 特 5 2007 年能登半島地震で実施した文化財保存修復学会の活動をふりかえる
災害対策調査部会（中村晋也、間渕 創、日高真吾、和田 浩、天野真志、木川りか、
佐藤嘉則）

博物館 DX がみんなを結ぶ

開催日：2024年6月21日（金）

会場：帝京大学八王子キャンパス 小ホール（ソラティオスクエア B2F）

主催：文化財保存修復学会

共催：帝京大学

開催趣旨

グローバル化や ICT 環境の急速な発展、普及を契機に、知識や情報をめぐる社会情勢は常に変革している。このような社会の変革において、博物館ではデジタル技術の応用、データのデジタル化が進んだ。その結果、研究は深化し、データはデジタルアーカイブとして記録管理され、インターネット上で提供するといった、IT 化が進められた。こうした情報の応用や管理についての議論は、これまで当学会においても進めてきた。

こうした中で、新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、博物館においてもデジタルトランスフォーメーション（DX）の実現が注目され、さまざまな取り組みが試みられている。

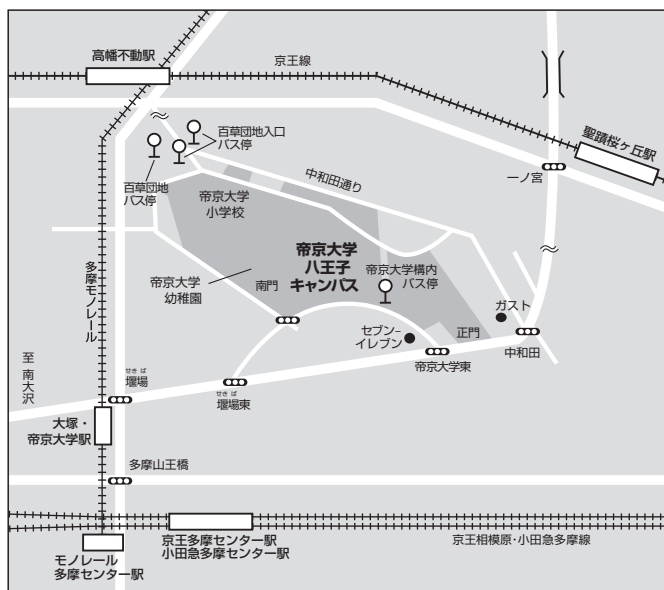
その結果、新たな展示・公開、利用者、地域との連携が見え、コロナ渦で希薄になってしまった「資料」「利用者」「地域」との結びつきを取り戻しつつある。しかしインバウンド需要の増大、観光需要対応など、さらなる発展が求められている。

そこで、本シンポジウムでは博物館活動の根幹をなしている展示・公開を皮切りとして、「資料」「利用者」「地域」との結びつきをテーマとし、それぞれの成果と意義を認識、共有することを目的とする。これを基に議論し、博物館 DX のあり方を指し示したい。

プログラム

総合司会	末森 薫（国立民族学博物館）
12:30	開場
13:00	開催挨拶 本田光子（文化財保存修復学会理事長）
13:05	趣旨説明 加藤和歳（九州歴史資料館）
13:10	基調講演 「博物館とみんなを結ぶデジタル技術」 今津節生（奈良大学）
13:50	休憩
14:00	事例報告 1 「名品と結ぶ博物館 DX」 大杉栄嗣（大塚オーミ陶業株式会社）
14:25	事例報告 2 「子どもたちと結ぶ博物館 DX」 中野宏人（九州歴史資料館）
14:50	事例報告 3 「地域と結ぶ博物館 DX」 安室喜弘（関西大学）
15:15	休憩
15:30	パネルディスカッション コーディネーター：加藤和歳 パネリスト：今津節生、大杉栄嗣、中野宏人、安室喜弘
16:30	閉会挨拶：日高真吾（文化財保存修復学会副理事長）

会場案内



帝京大学 八王子キャンパス

〒192-0395

東京都八王子市大塚 359

https://www.teikyo-u.ac.jp/campus/hachioji_campus

□頭発表・総会会場

キュリオシティホール

(ソラティオスクエア 1F)

特別ポスターセッション会場・

ポスター発表会場・機器等展示会場

学生ラウンジ (3号館)

懇親会会場

ソラティオ キッチン

(ソラティオスクエア 6F)

交通案内 <https://www.teikyo-u.ac.jp/campus/access/hachioji/>

■ 京王線 高幡不動駅より 京王バス 5 番のりば「帝京大学構内」行きに乗車、終点「帝京大学構内」下車

■ 京王線 聖蹟桜ヶ丘駅より 京王バス 2 番のりば「帝京大学構内」行きに乗車、終点「帝京大学構内」下車

■ 京王線・小田急線 多摩センター駅より 京王バス 4 番のりば「帝京大学構内」行きに乗車、終点「帝京大学 構内」下車

■ 多摩モノレール 大塚・帝京大学駅より 徒歩 15 分

※ 懇親会終了後、「帝京大学構内」から「高幡不動駅」まで専用バスを運行予定。(座席数に限りがございます。予めご了承ください。)

宿泊案内

本大会では公益財団法人八王子観光コンベンション協会の事業である MICE 開催助成金の申請を予定しています。 <https://hachioji-mice.org/>

八王子市内に宿泊していただくことで助成額が決まります。申請には宿泊者の情報が必要です。会期中に、お名前、お住まいの都道府県、宿泊ホテル名をご記入、ご提出いただくこととなりますので、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

《八王子市 宿泊施設一覧 <https://hachioji-mice.org/venues/hotel/>》

○八王子駅から帝京大学へお越しの方

京王八王子駅—(京王線)→高幡不動駅より京王バスに乗車 (以降「交通案内」をご参照ください)

○関西方面から新幹線ご利用の方

新横浜駅—(JR 横浜線)→八王子駅—(徒歩)→京王八王子駅—(以下同)

宿泊、交通手段につきましては、各自お早めにご手配ください。

第 46 回大会プログラム作成委員会

委員長：末森 薫 (国立民族学博物館)

副委員長：中村力也 (宮内庁正倉院事務所)

委員：李 ガン (東京学芸大学) / 大西智洋 (合同会社大西漆芸修復スタジオ) /

加藤和歳 (九州歴史資料館) / 鷹野佳世子 (帝京大学) / 杉山恵助 (東北芸術工科大学) /

成田朱美 (愛知県立芸術大学) / 早川典子 (東京文化財研究所) / 藤澤 明 (帝京大学) /

間渕 創 (国立文化財機構 文化財活用センター) / 和高智美 (合同会社文化創造巧芸) /

渡辺祐基 (九州国立博物館) / 和田 浩 (東京国立博物館)

* お問い合わせや伝達事項につきましては大会事務局までご連絡ください。

文化財保存修復学会第46回大会 於東京

実行委員会

委員長：日高真吾（国立民族学博物館）

副委員長：和田 浩（東京国立博物館）

委員：秋山純子（東京文化財研究所）／李 ガン（東京学芸大学）／池田和彦（(株)修護）／大西智洋（合同会社大西漆芸修復スタジオ）／
加藤和歳（九州歴史資料館）／鴈野佳世子（帝京大学）／貴田啓子（東京藝術大学）／釘屋奈都子（刀剣博物館）／
末森 薫（国立民族学博物館）／藤澤 明（帝京大学）／間瀬 創（国立文化財機構 文化財活用センター）／
和高智美（合同会社文化創造巧芸）

大会事務局：〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1 国立民族学博物館内 3階 公益財団法人千里文化財団気付
一般社団法人文化財保存修復学会大会実行委員会事務局

URL：https://jsccp.or.jp/taikai46/

E-mail：taikai46@jsccp.or.jp TEL：06-6877-8893 FAX：06-6878-3716

担当者は開催2か月前からの常駐予定（セカンドサーキュラー送付後の平日10時～17時）。それ以前につきましては用務に応じての在席となりますので、お問い合わせは、なるべくメールまたはFAXにてお願いいたします。

学会事務局：〒110-0008 東京都台東区池之端 4-14-8-102 特定非営利活動法人文化財保存支援機構気付

TEL：03-6661-2982 FAX：03-6661-2983

本学会は学会事務と大会開催事務を別業務として行っています。

学会事務局には大会担当者はおりませんので、開催についてのお問い合わせは大会事務局へお願いいたします。